

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成22年1月5日

化学物質等のコード : 1209-7356

化学物質等の名称 : リン酸鉛( ) (リン酸鉛, 第三)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 毒性物質  
危険性 : 不燃性であり、通常の取扱で引火、発火、爆発などの危険性は低い。  
有害性 : 眼、鼻、のど、皮膚を刺激する。吸入したり、飲み込んだ場合鉛中毒になることがある。四肢の麻痺、激痛が特徴で顔面蒼白、嘔吐・下痢・血便・脈頻・腎障害を起こし死亡することがある。  
IARCでは鉛及び鉛化合物(無機)を第2群のB(人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質で、証拠が比較的充分でない物質)に分類している。  
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品  
化学名 : リン酸鉛( )  
(別名) リン酸鉛, 第三  
成分及び含有量 : リン酸鉛( ), 90.0%以上  
化学式又は構造式 :  $Pb_3(P_4O_{12})_2$   
官報公示整理番号 化審法 : 9-2431  
安衛法 : 公表  
CAS No. : 7446-27-7  
危険有害成分 : リン酸鉛( )

4.応急処置

眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で15分以上洗い流し、直ちに医師の処置を受ける。  
皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせる。  
付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で充分に洗い流す。  
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。  
鼻をかませ、うがいをさせる。  
飲み込んだ場合 : 1%硫酸マグネシウムまたは硫酸ソーダの水溶液を大量に飲ませて吐かせた後、5%チオ硫酸ソーダ溶液(ハイポ)又は0.05%の吐酒石を水に溶かしたものを10分ごとに与えるか、或いは、大量の牛乳、生卵等を飲ませ医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火剤 : 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など。

6.漏出時の措置

飛散したものは出来るだけ空容器に回収する。そのあとを消石灰・ソーダ灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。  
作業の際には必ず護具を着用し、風下で作業をしない。  
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : ・吸い込んだり、眼・皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。

・作業終了時の入浴(皮膚についでいる鉛をよく洗い落とす。)  
保 管 : 容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度 : 0.05mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)  
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 0.1 mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)  
                  ACGIH TLV-TWA 0.15mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)  
設 備 対 策 : 粉塵の発生する場所ではできるだけ密閉化するか、又は局所  
                  排気装置を設置する。  
                  又、取扱所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。  
保 護 具 : 保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

外 観 等 : 白色粗粉末、無臭  
沸 点 : 分解  
融 点 : 1015  
揮 発 性 : 無  
比 重 : 6.9 - 7.2  
溶解度 水 : 不溶  
そ の 他 : 硝酸やアルカリに可溶

#### 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 通常の実験条件において安定である。  
                  熱水で徐々に加水分解される。  
                  不燃性である。

#### 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼):  
眼、皮膚に刺激作用があり、粘膜、皮膚に炎症を起こす。  
感 作 性 : データなし  
急性毒性(50%致死量等を含む):  
急性中毒の症状は、四肢の麻痺、痙攣が特徴で、顔面蒼白、嘔吐、下  
脈頻病、血便、腎臓障害を起こし、1~2日で死亡する。  
亜急性毒性 : データなし  
慢 性 毒 性 : 鉛の摂取量が増すと骨組織に沈着し、さらに血液中に遊離  
して毒性を現す。  
                  1日に0.5mg以上吸収すると蓄積して毒性を現す。  
                  0.5mg吸収すると致命的である。  
                  慢性症状としては、疲労、頭痛、四肢の感覚障害、けいれ  
                  ん、排尿障害等を起こすことがある。  
が ん 原 性 : IARCでは第2群のB(人間に対しておそらく発がん性があ  
                  ると考えられる物質で、証拠が比較的充分でない物質)  
                  に分類している。  
変 異 原 性 : データなし  
生 殖 毒 性 : データなし  
催 奇 形 性 : データなし

#### 12. 環境影響情報

分 解 性 : データなし  
蓄 積 性 : データなし  
魚 毒 性 : データなし

#### 13. 廃棄上の注意

固化隔離法 : セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定  
                  基準以下であることを確認して埋立て処分する。  
焙 焼 法 : 多量の場合には還元焙焼法により金属鉛として回収する。  
<備考> 廃棄物の溶出試験及び溶出基準は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に  
                  基づく規定による。  
                  焙焼法による場合には専門業者に処理を委託することが望ましい。

#### 14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無  
いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

国連分類 : 6.1(毒物) PG  
国連番号 : 3288 (その他の毒物(無機物)(固体)  
(他の危険性を有しないもの))  
海洋汚染物質 : 非該当

## 15.適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 No.411  
(第57条の2(令第18条の2))  
鉛中毒予防規則  
化学物質管理促進法(PRTR法): 特定第一種指定化学物質 No.305 「鉛化合物」  
(旧PRTR法: 第一種指定化学物質 No.230 「鉛及びその化合物」)  
消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法: 劇物、包装等級  
船舶安全法(危規則): 毒物類  
航空法 : 毒物  
大気汚染防止法 : 有害物質  
水質汚濁防止法 : 有害物質  
土壌汚染対策法 : 特定有害物質

---

## 16.その他の情報

### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。